

地域高規格道路

おおむ た し ながすまち
有明海沿岸道路(Ⅱ期)大牟田市～長洲町
第3回 説明資料

平成26年6月30日

国土交通省 九州地方整備局

本日、ご審議いただく内容

1. 前回までの審議内容
2. 第2回意見聴取の概要
3. 第2回意見聴取の結果
4. 対応方針(案)の検討
5. 自治体への意見照会
6. 対応方針(案) まとめ

1. 前回までの審議内容

1-1. 評価対象区間

【広域図】



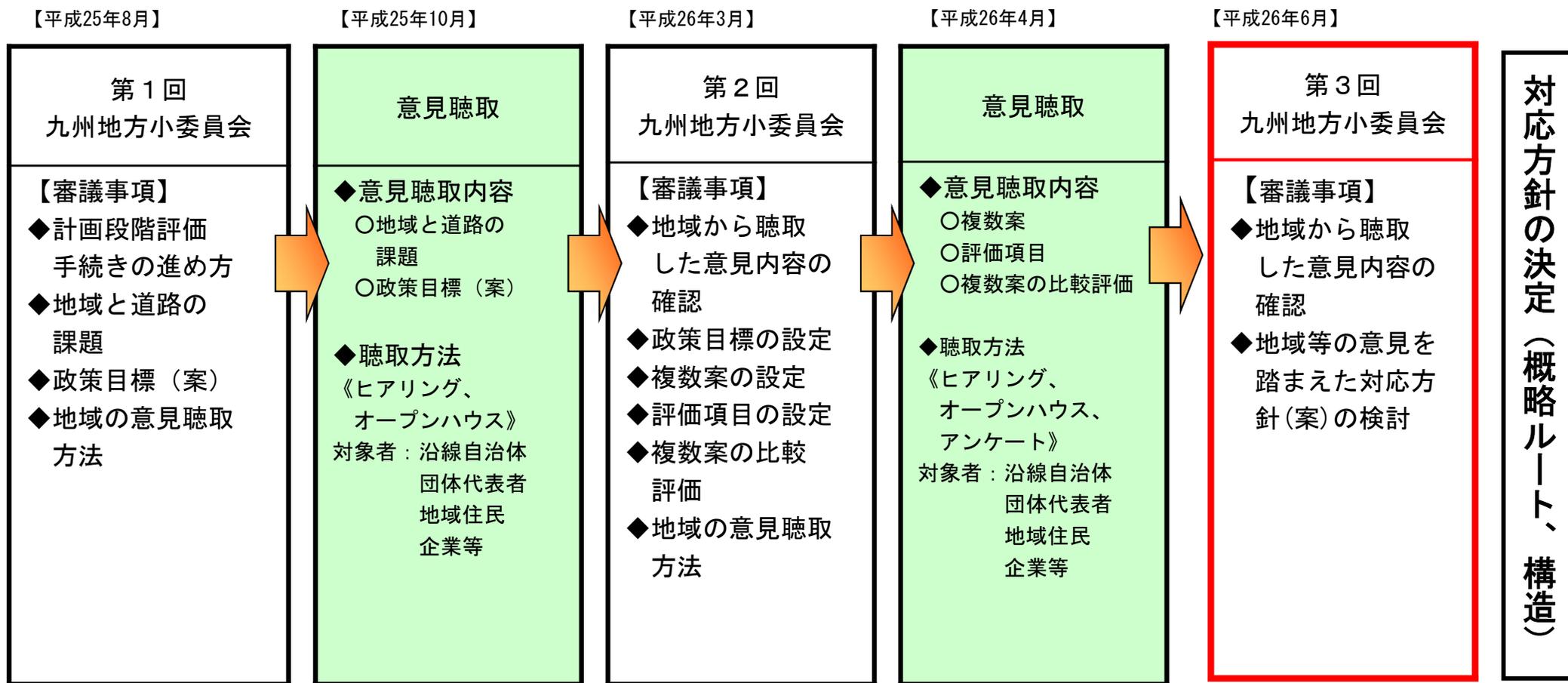
※H26.4月現在の道路網

【対象市町村の位置】



※現在、国・熊本県・熊本市において地域の現状や課題について検討中

1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地 方 小 委 員 会

1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(2回目)>

九州地方小委員会(2回目)の概要

■実施日

平成26年3月6日

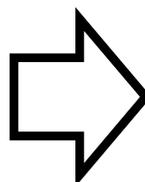
■主な議題

- ①地域から聴取した意見内容の確認
- ②政策目標の設定
- ③複数案の設定
- ④評価項目の設定
- ⑤複数案の比較評価
- ⑥地域の意見聴取方法

九州地方小委員会(2回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項

計画にあたって重要視すべき観点のみならず、その理由等についてもなるべく聴取するなど、意見聴取を丁寧に実施すること。



対応状況

オープンハウス、企業団体ヒアリングの際には、できる限り具体的な理由を含めて丁寧に意見聴取を行った。

1-4. 政策目標

■ 政策目標の設定

■ 地域課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への速達性向上による産業支援
2. 熊本～佐賀間及び大牟田、荒尾、長洲圏域内の連絡強化による圏域全体の活性化と快適な暮らしの向上
3. 速達性確保による有明・島原広域観光振興の促進
4. 信頼性の高い緊急輸送路の確保
5. 熊本市・久留米市の第三次救急医療施設への速達性・安全性の向上

■ 対策案の検討

【産業】

○長洲工業団地・名石浜工業団地等の産業拠点への速達性や定時性の確保、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の活性化

【暮らし】

○市役所、役場、住宅地等の生活拠点間の速達性や定時性の確保により、有明圏域定住自立圏構想等を支援
○走行性や安全性の向上に伴う事故減少等の快適な暮らしの向上

【観光】

○長洲港(有明フェリー)への速達性、定時性の向上による有明・島原広域観光への周遊性を高め、観光振興を促進

【防災】

○高潮等災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援

【医療】

○第三次救急医療施設(熊本市、久留米市)等への速達性、安全性の向上により緊急医療体制を支援

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

2. 第2回意見聴取の概要

2. 第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・企業・団体ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスによる地域住民ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

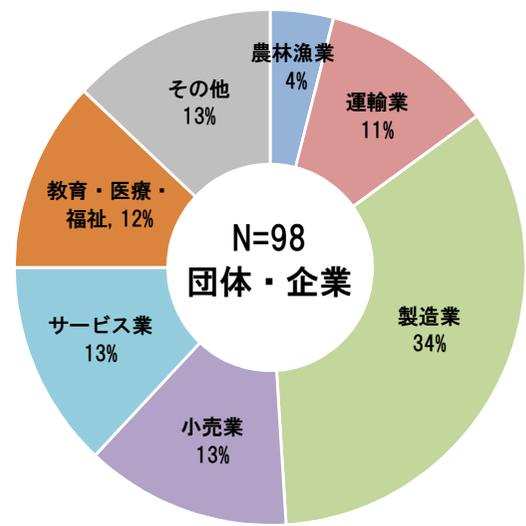
対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回答状況
自治体	ヒアリング	平成26年4月16日(水) ～4月30日(水)	福岡県、熊本県、大牟田市、荒尾市、長洲町	5自治体より
団体	ヒアリング	平成26年4月21日(月) ～4月30日(水)	トラック協会、タクシー協会、商工会議所、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会、医師会等 19団体	19団体より
企業	ヒアリング	平成26年4月21日(月) ～4月30日(水)	対象地域の主要企業(農林漁業、運輸業、製造業、小売業、サービス業、教育・医療・福祉) 79社	79社より
地域住民	アンケート	平成26年4月14日(月) ～4月30日(水)	・アンケート(大牟田市、荒尾市、長洲町) 3自治体×3,000世帯に無作為抽出 (9,000世帯)	アンケート回答数 1,652票
	オープンハウス	平成26年4月18日(金) ～4月19日(土)	・オープンハウス 6会場(大牟田市2、荒尾市2、長洲町2)	オープンハウス 意見聴取数:665人

2. 第2回意見聴取の概要

■ヒアリング実施状況



■ヒアリング実施団体・企業の内訳



対象:自治体
(2県2市1町)
団体(19団体)
企業(79社)

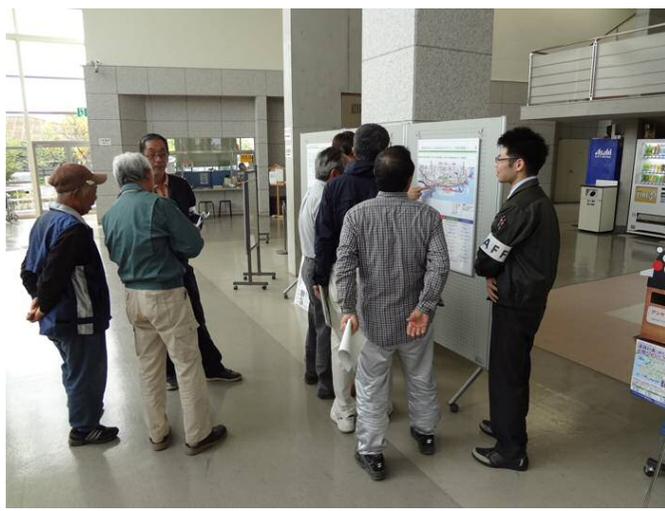
2. 第2回意見聴取の概要

■オープンハウス実施状況

【大牟田市立図書館】



【ながす未来館】

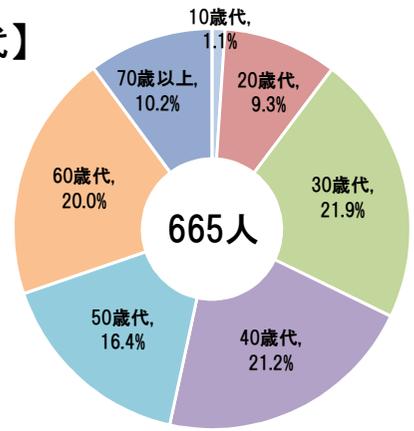


【あらおシティーモール】

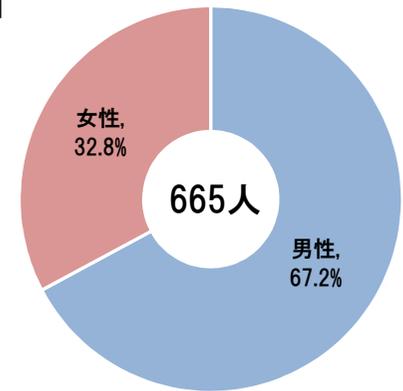


■オープンハウス意見聴取者の内訳

【年代】



【性別】



対象：地域住民
 会場：大牟田市2、
 荒尾市2、長洲町2
 意見聴取数：665人

3. 意見聴取の結果

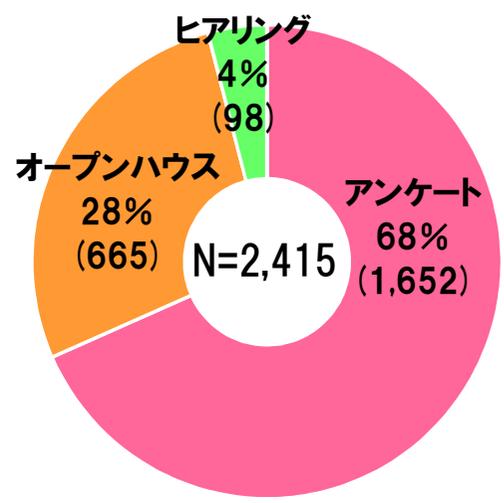
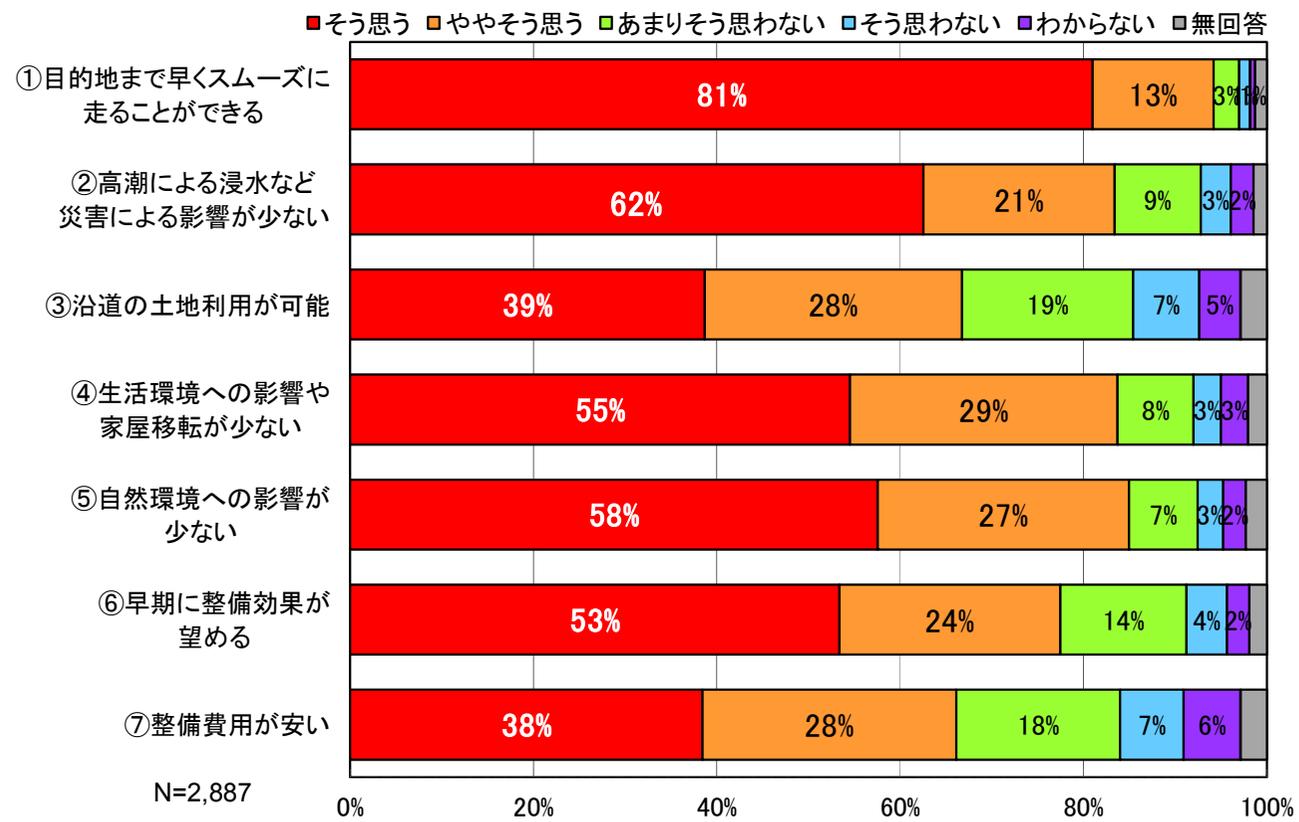
(1) ルート帯案に関すること

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべきと思う事項7項目について、「そう思う」、「やや思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5段階で回答。

- 配慮すべき事項としては、「①目的地まで早くスムーズに走ることができる」が最も多く、次いで、「⑤自然環境への影響が少ない」、「④生活環境への影響や家屋移転が少ない」が多いという傾向。
- 一方、「③沿道の土地利用が可能」、「⑦整備費用が安い」については、約7割が配慮すべきという意見であるものの、約3割は比較的重要視していない傾向。

質問：対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

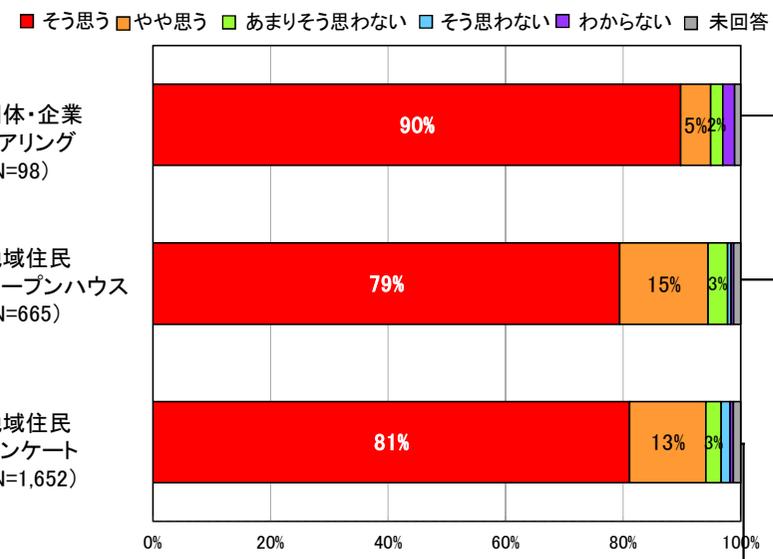


◆アンケートの回答数と割合

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【①目的地まで早くスムーズに走ることができる】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として特に重視している傾向。
- 自由意見においては、いずれの意見聴取方法においても「産業・観光」に対する関心が特に高い。なお、地域住民においては、通勤時間の短縮やスムーズな救急搬送等、「暮らし」、「医療」に関心が高い傾向にあった。
- 自治体意見においては、「産業・観光」、「暮らし」、「医療」の観点から、速達性・安全性の高い道路を望む意見があった。



- **長洲港への物流の動線強化**が重要であり、既供用区間と同様な整備形態(自動車専用道路)が望まれる。(大牟田)
- **産業や観光に寄与できる道路**とするためには、速達性が最も重要である。(荒尾)
- **三池港と長洲の工業団地を円滑に連結**することにより、**企業活動の活性化や企業誘致**の推進が可能となる。(長洲)
- **長洲町、雲仙から大牟田の商業施設を利用する方も多**いことから、検討区間の整備が期待される。(長洲町)
- 大牟田市は島原市と観光面で協力して広報活動等を行っており、**有明海沿岸道路の整備は、沿岸地域の観光振興の面で大きな意味を持つ**。(大牟田)
- 荒尾市における**医師確保、および救急搬送(佐賀・熊本方面)時の時間短縮**を期待している。(荒尾)
- 長洲港・工業団地等へ直接アクセスするのではなく、**街中の移動を誘導して地元の商店等を利用してほしい**。(長洲)

- 【自治体意見】**
- ・ **速達性・安全性の高い道路**であることが望ましい。(熊本県)
 - ・ **有明圏域定住自立圏内の円滑な移動確保**のためには、福岡県側と同様に自動車専用道路整備が必要。(大牟田市)
 - ・ **産業活性化及び観光振興には目的地までの移動時間の短縮**が重要。(荒尾市)
 - ・ 本町には総合病院や第3次救急医療施設がないため、**救急搬送の速達性、安全性**のある道路整備を望む。(長洲町)

- 案①を希望。**通勤時間が短縮される**ため。(大牟田)
- 自動車専用道路が長洲港まで整備されれば、**長崎・島原から長洲・荒尾・大牟田・柳川に至る新たな観光ルートの確立**が期待できる。(大牟田)
- ルート整備による**物流等の移動時間の短縮**による、**企業立地、設備投資、雇用の増大**が期待される。(長洲)
- 緊急時に**少しでも早く患者を搬送できる道路が必要**だと感じている。(長洲)
- 目的地までスムーズな事より、**地域の活性化につながる事の方が大事**と思う。(荒尾)

- **大牟田市、荒尾市、長洲町一体となった町づくり、産業の誘致を進めてほしい**ため、早く道路整備を進めてほしい。(大牟田)
- **日常生活が早く便利になる**ことが一番(長洲)
- **長洲工業地帯のトラック通行のスムーズと騒音の削減**。(長洲)

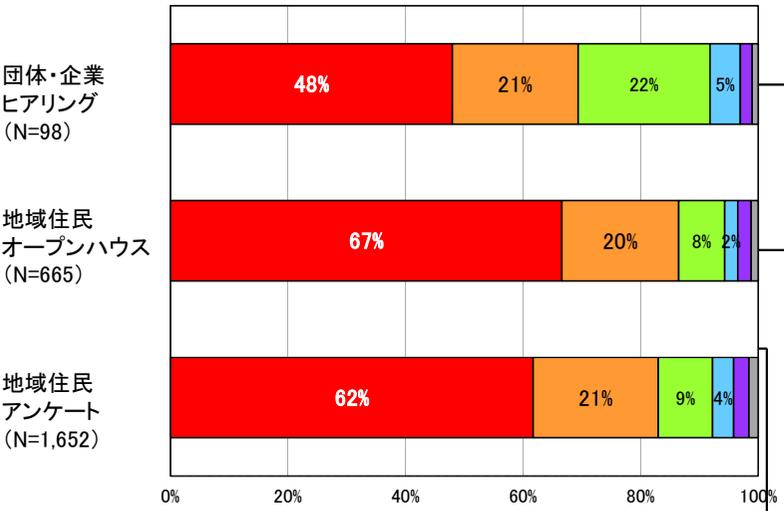
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【②高潮による浸水など災害による影響が少ない】

- 団体・企業に比べ、地域住民の方が、配慮すべき事項として重視する傾向。
- 自由意見においては、降雨期における高潮等の災害において、物流・救急車両の通行等に対して十分に機能する道路であることを求める意見が多い。
- 自治体意見においては、災害時の避難路や救援活動等に資する信頼性の高い道路整備を求める意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 北部水害の際、有明海沿岸道路以外は通行できなかった事もあり、**災害時の救援活動などにも活用**できるしっかりした道路を整備すべきだと思う。(大牟田)
- 梅雨時の大潮時に市役所前が冠水したこともあり、なるべく**高潮対策に配慮した道路整備**を進めて欲しい。(荒尾)
- 海岸線に非常に近い道路であることに配慮して、**台風時の高潮等の災害にも強い道路**を整備してほしい。(長洲)
- 最近**は災害が少ないので、配慮する必要があるとまでは考えられない**。(荒尾)

- 緊急時(**災害時の緊急車両通行**や病院への搬送等)の利便性に配慮すべき。(大牟田)
- 災害時においても、**緊急道路としての役割**を果たすよう、また、**物資輸送経路の確保**の面も含め検討していただきたい。(長洲)
- 海岸線に沿って堤防道路を兼ねたような形状にして**高潮対策**にも役立ててもらいたい。(荒尾)
- **自然災害のことはあまり考えなくて良い**のでは。(大牟田)

- 災害時に主要道路となり**物流、緊急車両がスムーズ**にできる事が大切。(荒尾)
- 有明海は内海であるが、過去に津波で被害にあっている。海岸に近い所につくって、**避難場所として使える**ように考えてほしい。(長洲)

【自治体意見】

- ・浸水による影響がないことが望ましい。併せて、災害時にも**避難路**となる「**命の道**」としての**機能**を有することが望ましい。(熊本県)
- ・災害時でも通行止めされることなく**救援活動等**に資する、**信頼性の高い道路**としての整備が必要。(大牟田市)
- ・災害時において、**住民避難**や**復旧のための緊急輸送路**となる**高架道路の整備**を要望する。(長洲町)

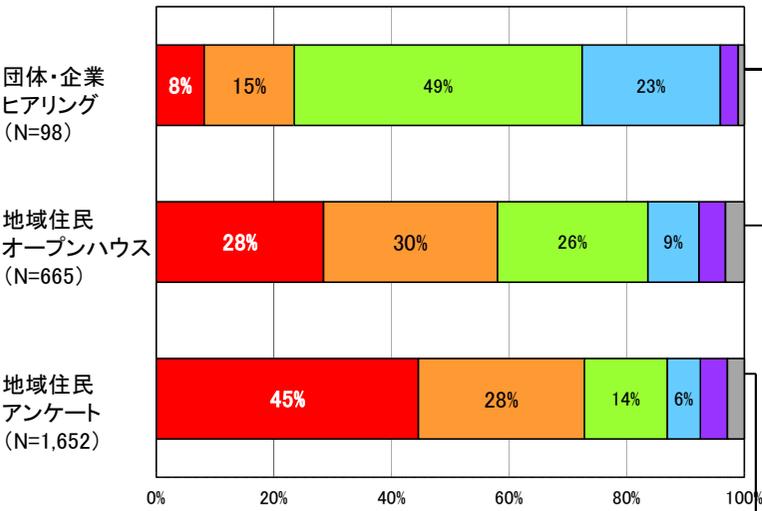
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【③沿道の土地利用が可能】

- 特に団体・企業からの意見において、あまり配慮しなくて良いとする意見が多かった。
- 自由意見においては、団体・企業からは、出入り交通による速度低下への危惧等の理由から重要性が低いという意見が多かった。一方、地域住民においては、時間短縮を目的とする道路であるため沿道利用の必要性は低いという意見があるとともに、現道沿線の商業者への影響を危惧する意見もあった。
- 自治体意見においては、本道路の目的に照らし速達性・安全性を高めるためには、沿道の土地利用は重要性が低いという意見であった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 目的地(長洲港・工業団地等)へ直接アクセスするのではなく、街の中への移動を誘導して地元の商店等を利用してほしい。(長洲)
- 沿道の土地開発を進めると、さらに渋滞が増えてしまうのではと思う。(荒尾)
- 対象区間に並行する国道389号は立ち寄り施設も少ないと思われることから、土地利用については配慮事項としての重要性が低い。(大牟田)
- 現道沿線の商店等を利用する方は、有明海沿岸道路を利用しないと思われるので、沿道利用は余り重要視していない。(荒尾)
- 沿道利用を前提としては、出入り交通で走行速度の低下が考えられるので配慮すべきではない。(荒尾)

- 土地の価値を上げる等、地域の活性化につながる事の方が大事と思います。(荒尾)
- 一般の利用者には便利になると思うが、通過交通が増え現道沿線の商業者に影響が出るのではないか。(大牟田)
- 整備の目的が佐賀・熊本方面への移動の時間短縮だと思うので、沿道利用の必要性が少ないのではないか。(大牟田)

- 地元の発展の為には沿道利用は不可欠と思う。(長洲)
- 沿道の利用は控えてもらいたい(専用道路であれば)。(荒尾)

【自治体意見】

- ・速達性・安全性を高めるには、自動車専用道路が有効であることから、沿道の土地利用ができないのは、いたしかたない。(熊本県)
- ・本道路は目的地までの時間短縮が主な目的であり、沿道の土地利用は現道で行うことができる。(荒尾市)

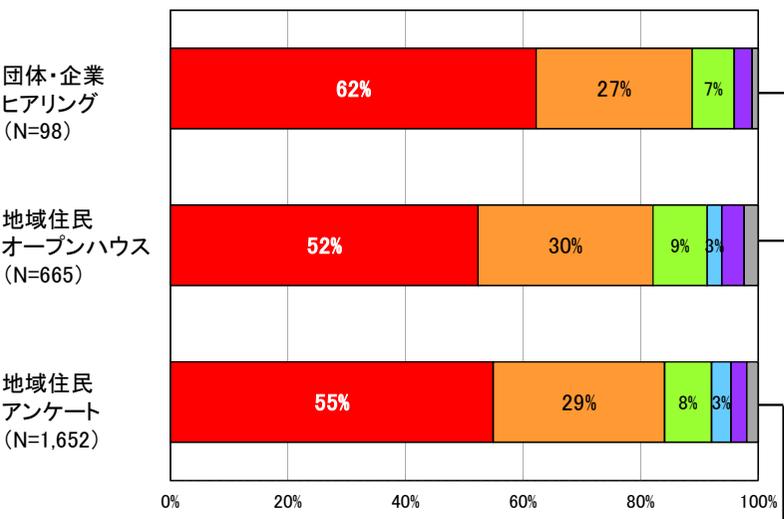
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【④生活環境への影響や家屋移転が少ない】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として重視している傾向。
- 自由意見においては、いずれの意見聴取方法においても、大型車等の産業用車両が一般道を通行することによる安全性への影響を危惧する意見が多い。
- 自治体意見においては、事業の早期進展及び地域住民の生活環境への配慮という観点から、家屋移転数を極力少なくすることを望む意見が多い。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- **トラックの利用経路を分ける**だけで生活道路の役割も**安全面を含め向上**が期待される。(荒尾)
- **移転が必要となる住民の生活**や道路整備後の**沿道住民の生活に十分配慮**した計画にしてほしい。(荒尾)
- 高速道路のような整備形態がよく、**立退きも少ない**と思われるため、案①が良いと思う。(荒尾)
- 生活環境については、**企業と住民との共存の視点から無視できない**ので、配慮は必要と思う。(長洲)
- 劇物を含む危険物を積んだ**大型車**が市内の一般道路を通ることは、安全面や騒音などの面でも望ましくない。**現道を利用しなくてもよいような道路整備**が重要。(大牟田)

- **現道拡幅となると、産業用車両が周辺住民の生活にも影響**し、また産業団地の活用にも支障となるため、自動車専用道路にしたほうがよいと思う。(大牟田)
- **騒音等で地域住民に影響がないような対策**をとってほしい。
- **既存の道路改良案**では、**大型トラック等の運行による近隣住民の安全性も向上しない**。(長洲)

- **住宅街の近くを通す案は、交通量の増加(大型車)が懸念**され、子供や老人への事故が心配である。(長洲)
- 整備にあたって、**周辺の交通混雑がひどくなることは避けて**ほしい。(長洲)

- 【自治体意見】**
- ・ **家屋移転は不測の時間を要することから、家屋移転が少ないことが望ましい**。(熊本県)
 - ・ 家屋移転数は、**地域住民への影響を最小限**とし、**早期に供用開始**するため、出来る限り少ないことが望ましい。(荒尾市)
 - ・ **騒音など住民の生活環境への配慮**が必要である。(長洲町)

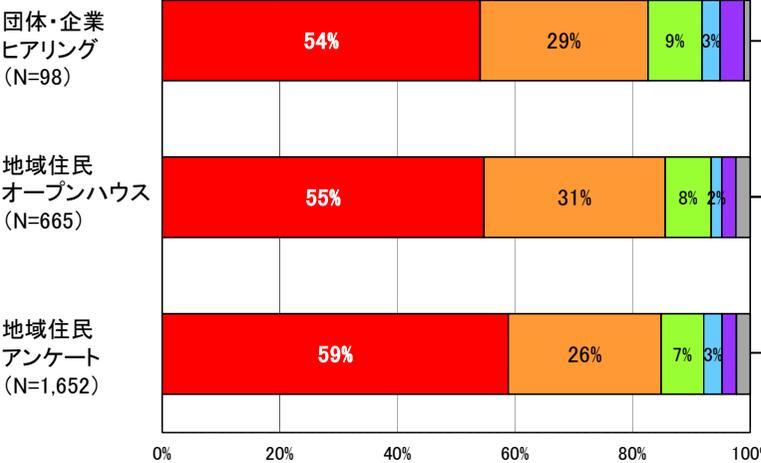
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【⑤自然環境への影響が少ない】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として重視している傾向。
- 自由意見においてはいずれの意見聴取方法においても、ラムサール条約湿地区域や圃場整備区間への影響を与えないよう配慮すべきという意見が多かった。
- 自治体意見においても、ラムサール条約湿地区域や圃場整備地区の回避が望まれるとともに、荒尾市有明海岸松並木郷土修景美化地域等への配慮を望む意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 施工時に、漁業に影響が出ないようにしてほしい。コンクリートの排水処理を、適切に行ってほしい。(大牟田)
- ラムサール区域に影響を与えない方法で、沿岸を整備する案1が最も良いと思う。(長洲)
- 内陸の方に行く第2案は、住宅地や圃場整備済みの所を通過する可能性があるため、望ましくない。(大牟田)
- 優良農地への影響を考慮すると、案①が望ましい。(大牟田)
- 高架構造であれば、走行中に海が見えるため、景観的にも良い。(荒尾)
- 自然環境への影響は、希少動物の生息等が確認されれば、検討する必要がある。(荒尾)

- ラムサール条約の干潟もあり、十分に配慮すべき。有明のり養殖の被害がない様に。(荒尾)
- 有明海の自然環境(干潟等)は稀な地域であるため、なるべく影響の少ない対策を採用して頂きたい。(長洲)

- ラムサール条約に配慮し自然環境への悪影響がないようにしてほしい。(荒尾)
- 今まで長い間親しんできた自然環境、景観を損なわないようにお願いします。(大牟田)

【自治体意見】
 ・ラムサール条約湿地区域や荒尾市有明海岸松並木郷土修景美化地域が存していることから、自然環境への影響が少ないことが望ましい。(熊本県)
 ・荒尾市内で最大規模の圃場整備地区を通過するのは好ましくない。(荒尾市)

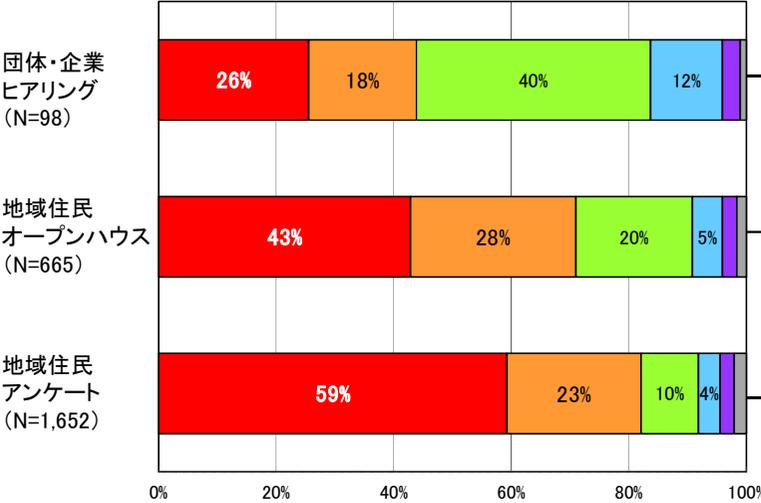
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■属性別に見た回答の傾向【⑥早期に整備効果が望める】

- 地域住民の意見では配慮すべきとされている一方で、団体・企業による意見では、あまり配慮しなくて良いとする意見が多かった。
- 自由意見においては、いずれの意見聴取方法においても機能的に優れた道路による整備を前提としながら、早期整備を期待する意見が多かった。
- 自治体意見においては、自動車専用道路による早期整備を求める意見が多かった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 人口が減少してしまっからの整備では意味がない。自動車専用道路の早めの整備が必要と思われる。(大牟田)
- 他の地域から人を呼び込める環境づくりを急ぐ必要があり、自動車専用道路の早期整備が望まれる。(荒尾)
- 現道活用案では効果が小さく、用地買収にも時間がかかるのでは。(長洲)
- しっかりしたものを整備するのであれば、時間がかかってもよいと思う。(大牟田)
- 早期整備を望むが、自専道構造で整備を行い、一定の効果を発現して欲しい。(荒尾)
- 機能的に優れた構造にて整備しつつ、できるだけ早く整備して欲しい。(長洲)

- 今まで高規格道路のない有明沿岸の市町において、早期建設は大きな発展に繋がるものである(長洲)
- 目的へ早く着く高規格道路の早期整備により国道208号の渋滞が緩和されれば嬉しい。(荒尾)
- ある程度時間がかかっても、しっかりした道路(地震や津波等)を作っていただきたい。(荒尾)

- 三池港まで整備されているので、対象区間も早く整備してほしい。(荒尾)
- 利便性を生かして、目的地までは、渋滞も少なく、利用できる方が緊急輸送に有効な道路で1日も早く長洲までつながってほしい。(長洲)
- 長洲町は有用な道路網が少なく、多くの人は裏道など狭い危険な道を通っているので、早期につくって欲しい。(長洲)
- 高齢者にとって現存の道路の整備で充分であり、早期整備は不要。(長洲)

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

【自治体意見】

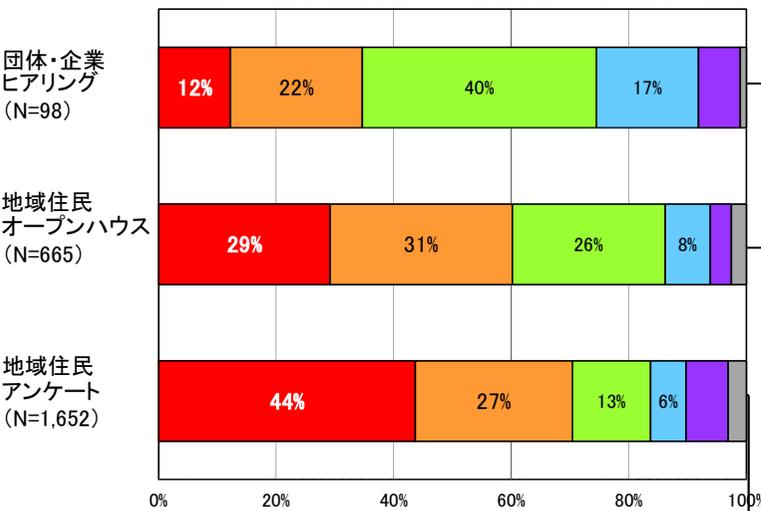
- ・自動車専用道路で結ばれることを強く要望したい。地域にもたらず整備効果は広域的でかつ大きいため、早期事業着手をお願いいたします。(福岡県)
- ・一定の期間・費用を要しても速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要と考える。(熊本県)
- ・地域の活性化のため早期の整備を要望する。(長洲町)

3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【⑦整備費用が安い】

- 特に、ヒアリング(団体・企業)において、あまり配慮しなくて良いとする意見が多かった。
- 自由意見においては、いずれの意見聴取方法においても費用が安いことが望ましいとしつつもしっかりとした機能を有する道路整備を望む意見が多かった。
- 自治体意見においては、一定の費用は要しても必要な機能を有した道路の整備が必要であるという意見が多かった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 第1案か第2案がイメージであるが、早期に供用し、費用を安くして欲しい。(荒尾)
- 費用は安いことが望ましいが、作るならそれなりの機能を有している方が良い。(大牟田)
- 産業や観光に寄与できる道路とするためには、速達性が重要であるため、費用も大切だが優先度は劣る。(荒尾)
- 費用が安いことは望ましいが、案③の整備であればやらないほうがいい。(大牟田)

- 今の時代、あまりお金をかけるのはいけない。今ある道路を広げて走りやすくする程度で十分ではないか。(大牟田)
- この地域の将来を大きく左右するので、単に事業費のみならず、地域活性化の観点を最重視して頂きたい。(荒尾)
- 住民のため、企業の効率化を図る為なら多少整備費用がかかってもやむを得ない。(長洲)

【自治体意見】

- ・ 一定の期間・費用を要しても速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要と考える。(熊本県)
- ・ 整備費用がやや高くても、地域振興に大きな効果があるルートが望ましい。(荒尾市)
- ・ 整備費用については一般的に安いことが望まれるが、必要な機能を持たせるために相応の整備費用を要することは仕方ない。(長洲町)

- 人口が減っていくので費用が安いことと、将来のために自然環境への配慮が必要。(長洲)
- 安かろう悪かろうにならない事。(大牟田)
- 道路を整備すれば企業誘致に有利になるので、整備費用が高くなっても費用対効果として問題ないと思う。(荒尾)

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-1. 意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果(再掲)

■自治体への意見聴取結果

<福岡県知事>

- ・I期区間の整備が進んだことにより沿線都市間の移動時間の短縮や並行する道路の混雑緩和等により地域の安全安心及び活性化が図られていることから、同様に自動車専用道路で結ばれることを強く要望したい。
- ・有明海沿岸道路は広域的な連携を担う地域高規格道路であり、地域にもたらず整備効果は広域的でかつ大きいため、早期整備について要望させて頂いているところです。有明海沿岸道路Ⅱ期(大牟田市～長洲町)についても引き続き国事業として早期事業着手をお願いいたします。

<熊本県知事>

- ・目的地まで早くスムーズに走ることができる速達性・安全性の高いルート帯(道路)であることが望ましい。
- ・浸水による影響がないことが望ましい。併せて、災害時にも避難路となる「命の道」としての機能を有することが望ましい。
- ・速達性・安全性を高めるには、自動車専用道路が有効であることから、沿道の土地利用ができないのは、いたしかたない。
- ・家屋移転は不測の時間を要することから、極力、家屋移転が少ないことが望ましい。
- ・ラムサール条約湿地区域や荒尾市有明海岸松並木郷土修景美化地域が存していることから、自然環境への影響が少ないことが望ましい。
- ・一定の期間・費用を要しても速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要と考える。

<大牟田市長>

- ・柳川市～長洲町で構成される有明圏域定住自立圏内の円滑な移動確保のためには、福岡県側と同様に自動車専用道路整備が必要。
- ・佐賀空港も含めた物流拠点の連結による地域経済の活性化のためには、三池港と長洲港が直結されるルート帯整備をお願いしたい。
- ・世界遺産観光ルートとしての活用を考えており、長洲港を介して長崎県への広域観光ルート設定が可能となる。
- ・災害時でも通行止めされることなく救援活動等に資する、信頼性の高い道路としての整備が必要と考えます。

<荒尾市長> 以下の理由より、整備費用がやや高くても最も効果が期待できる案1の自動車専用道路の産業観光拠点直結ルートを要望する。

- ・産業活性化及び観光振興のためには、目的地までの移動時間の短縮が重要である。
- ・本道路は目的地までの時間短縮が主な目的であり、沿道の土地利用は現道で行うことができる。
- ・家屋移転数は、地域住民への影響を最小限とし、早期に供用開始するため、出来る限り少ないことが望ましい。
- ・荒尾市内で最大規模の圃場整備地区を通過するのは好ましくない。
- ・整備費用がやや高くても、地域振興に大きな効果があるルートが望ましい。

<長洲町長>

- ・本町には総合病院や第3次救急医療施設がないため、救急搬送の速達性、安全性のある道路整備を望む。
- ・津波等の災害時において、住民避難や復旧のための緊急輸送路となる高架道路の整備を要望する。
- ・騒音など住民の生活環境への配慮が必要である。
- ・地域の活性化のため早期の整備を要望する。
- ・整備費用については一般的に安いことが望まれるが、必要な機能を持たせるために相応の整備費用を要することは仕方ない。

3. 意見聴取の結果

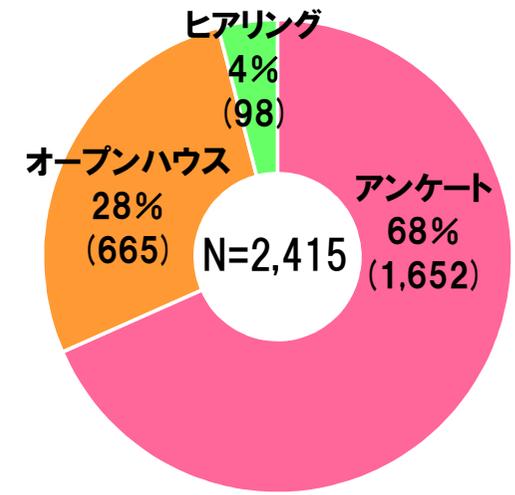
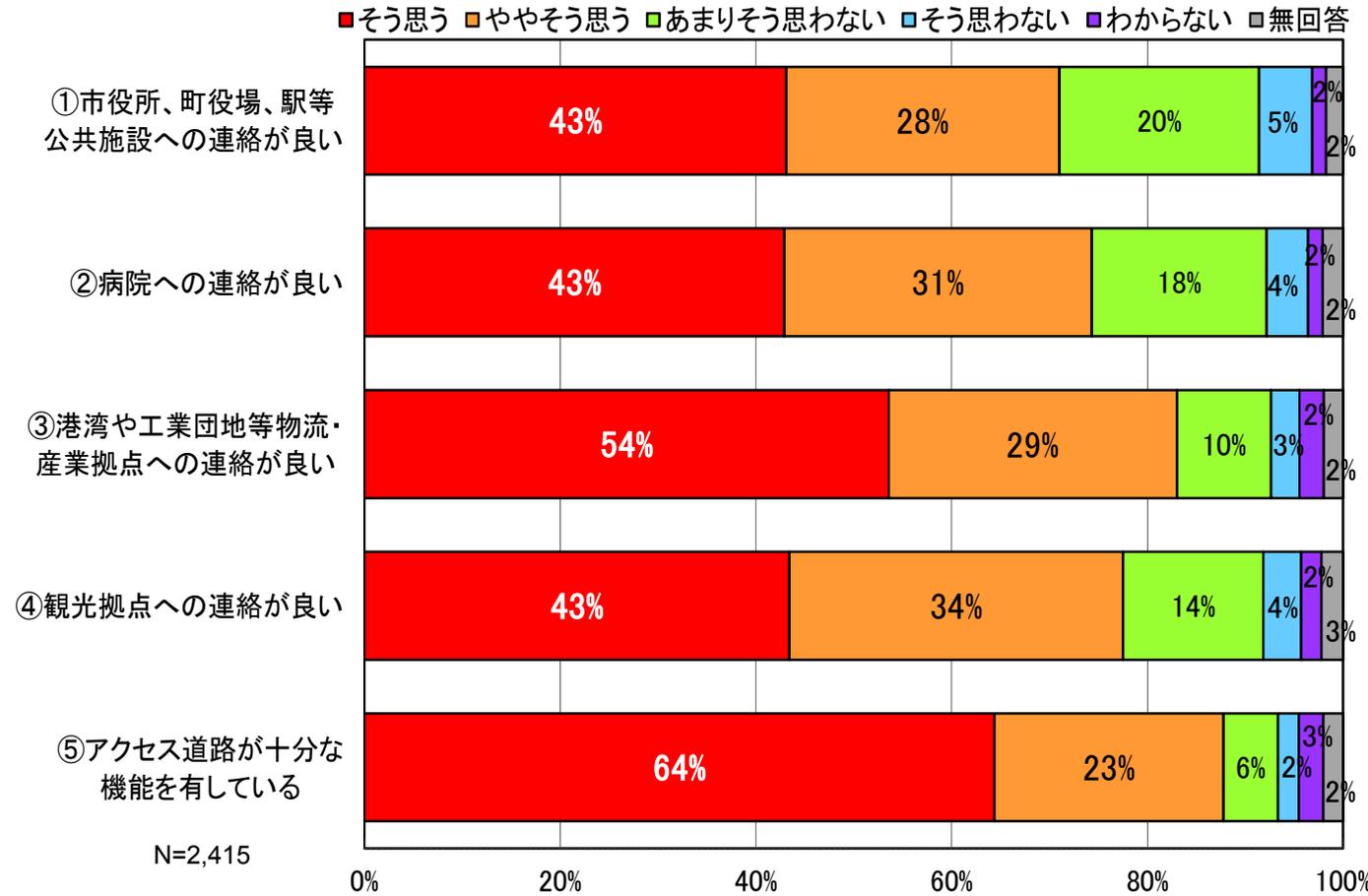
(2) インターチェンジに関すること

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべきと思う事項5項目について、「そう思う」、「やや思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5段階で回答。

■ 配慮すべき事項として重要視されている項目としては、「⑤アクセス道路が十分な機能を有している」が最も重用されており、次いで、「③港湾や工業団地等物流・産業拠点への連絡が良い」、「④観光拠点への連絡が良い」が重要視されている傾向。

質問：インターチェンジの設置を検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？



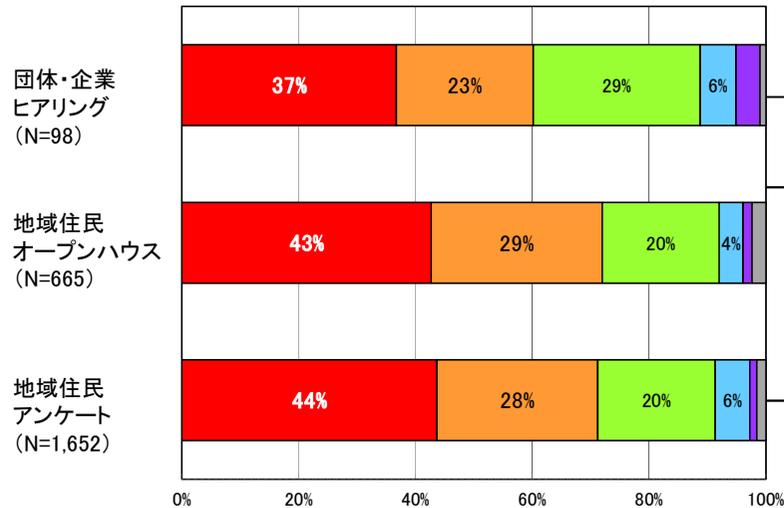
◆アンケートの回答数と割合

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【①市役所、町役場、駅等公共施設への連絡が良い】

- 団体・企業及び地域住民による意見では、概ね配慮すべきとする傾向。
- 自由意見では、荒尾駅へのアクセス性や荒尾競馬場跡地の有効活用に対し期待される声が多い一方で、公共施設へのアクセス性については、あまり配慮しなくても良いという意見も見られた。
- 自治体意見においても、公共施設へのアクセス性は必ずしも考慮する必要はないという意見に加え、荒尾競馬場跡地の有効活用が望ましいという意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- **荒尾駅と南荒尾駅へのアクセス利便性**が高い箇所が望ましい。(荒尾)
- 沿線にある**競馬場跡地を有効活用**できるような配置を考えたほうがいいのか。(長洲)
- 企業としては公共施設や病院への配慮は、**そこまで重視しない**。(長洲)
- **市役所**来訪者は市内住民が多数であるので、**アクセスは考慮しなくてよい**。(荒尾)

- **官公施設や観光拠点へのアクセス**が良ければ使いやすいと思う。(大牟田)
- 三池港ICからのルートを検討すると、**荒尾競馬場跡地にICの設置が適している**と思う。また、荒尾市の場合土地がないのでそこ以外考えられない。(荒尾)
- **荒尾駅前**から町中心市街地の活性化に繋がる事に配慮して欲しい。(荒尾)
- **駅や市役所が近い必要はない**と思う。(大牟田)
- 市街地への車流入が多くなることを思えば、**競馬場跡地近くにインター**が出来ればと思う。(荒尾)

【自治体意見】

- ・役所、駅等の**公共施設利用者の多くは地元住民**であることから、インターチェンジが必ずしも至近である必要はない。(熊本県)
- ・今後の**競馬場跡地の有効活用**や**家屋移転数を少なく**するためには、**競馬場跡地内でのIC設置**が望ましい。(荒尾市)

- **荒尾競馬場跡地付近**へのインターチェンジを希望。(長洲)
- 高齢者が多くなる今後は、特に**公共施設への連絡が必要**だと思う。(長洲)
- 通常市内の人しか利用しないため、市役所、町役場への連絡は**あまり重要ではない**と思う。(大牟田)
- **公共施設等は、一般道路で充分**。(長洲)

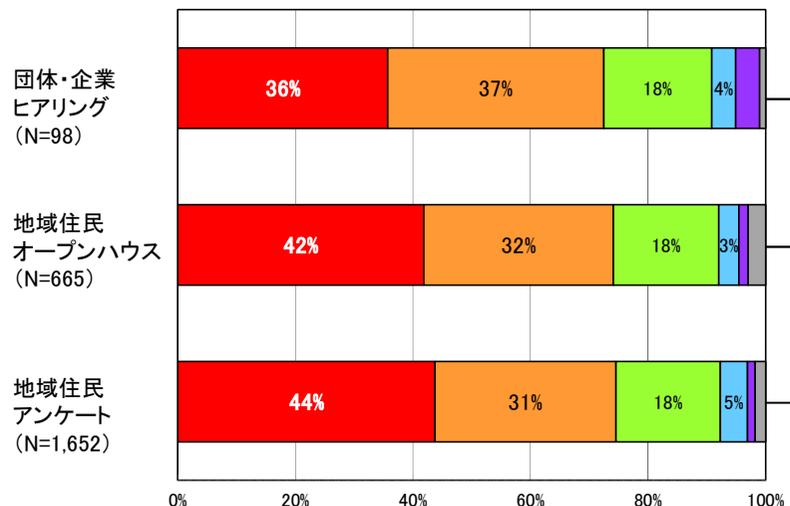
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【②病院への連絡が良い】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として重視している傾向。
- 自由意見では、特に荒尾市民病院や荒尾中央病院等の沿線において比較的規模の大きい病院に対するアクセス配慮を求める意見が多かった。
- 自治体意見においても地域内の病院からの高いアクセス性を求める意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 救急車両も利用することが想定されるため、ICは荒尾市民病院の近くに設置した方が良い。(大牟田)
- 荒尾市民病院が災害時における拠点病院として機能する可能性もあるため、病院周辺部へのIC設置が望ましいと考えます。(荒尾)
- 荒尾中央病院・荒尾市民病院やグリーンランドのあたりが最良。(大牟田)
- 施設規模の大きい病院であればICが近いほうが良いと思うが当該区間には無い。(大牟田)

- 社会がどう変わっても病院や物流・産業拠点への連絡の必要性は低下しないと思う、普遍性のあるものに対して投資すべきでもある。(大牟田)
- 長洲町には総合病院がなく、緊急時に少しでも早く患者を搬送できる道路が必要だと感じている。(長洲)
- 荒尾市の住人であれば病院へ行くのにこの道路は使わない。(荒尾)

【自治体意見】

- ・当該地域の第3次医療施設は熊本市や久留米市と遠いため、地域内の病院からの搬送時間短縮が課題であり、高いアクセス性を確保する必要がある。(熊本県)
- ・救急搬送の速達性の面からは病院への連絡がよいことが望ましい。(長洲町)

- これからは高齢者が多い社会になるので病院や公共施設への便利さがより求められると思う。(荒尾)
- 病院へのアクセス(大牟田・荒尾)を良くしていただきたいと思います。(長洲)
- 目的の病院に受診のために行く場合や救急車が患者を運ぶ場合に、早急に行動できる方が良い。(荒尾)
- 車の排気ガスが健康に与える害を少しでも防ぐためにインターは、生活の中心圏に近くない方が良い。特に病院・学校等から離れた方が良いと思う。(長洲)

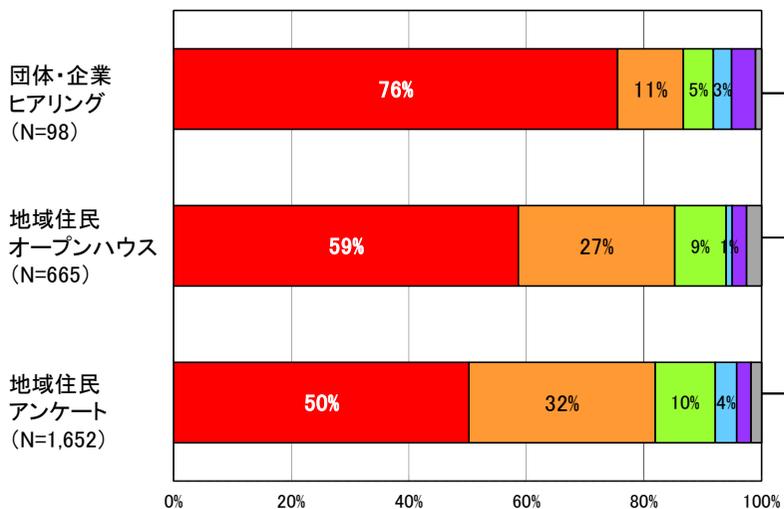
■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【③港湾や工業団地等物流・産業拠点への連絡が良い】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として重視している傾向であった。
- 自由意見では、長洲港や工業団地等の地域の物流拠点へのアクセス性を配慮することが、産業・物流及び現道の安全性の観点から重要であるとの意見が多かった。
- 自治体意見においては、三池港や工業団地への連絡性を考慮すべきという意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 道路の目的(産業発展、物流に寄与等)に資する場所へのIC設置が重要。(大牟田)
- 現道の大型車を減らし、安全面の向上を図るためにも、大型車の利便性がいい工業団地へのアクセス性が重要と考えられる。(荒尾)
- 現道(国道389号)から大型車が転換されるようにインターチェンジを配置することが、特に重要である。(荒尾)
- 長洲港までつながると長崎へのビジネスチャンスが広がるのではないかと。(長洲)
- 工業団地は大型車の発着が多いので、沿岸道路へ早めにアクセスできることが重要。(長洲)

- 大型車、産業用車が生活圏内に入ってこないようにするのが、この道路の目的だと思う。(大牟田)
- 工業団地に近いと、一般道を大型車が走らなくなるので安全で良い。(荒尾)
- 特に港湾や工業団地への連絡が良い形状で、住宅への影響の少ないように配慮してほしいと思います。(長洲)

- 物流、産業拠点への連絡がよければ大型車の一般道通行量も減り、一般道も通りやすくなると思う。(長洲)
- 港湾や工業団地・産業拠点への連絡が良いことで大型車の路上駐車(待機車)が多くなると思います。(荒尾)

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

【自治体意見】

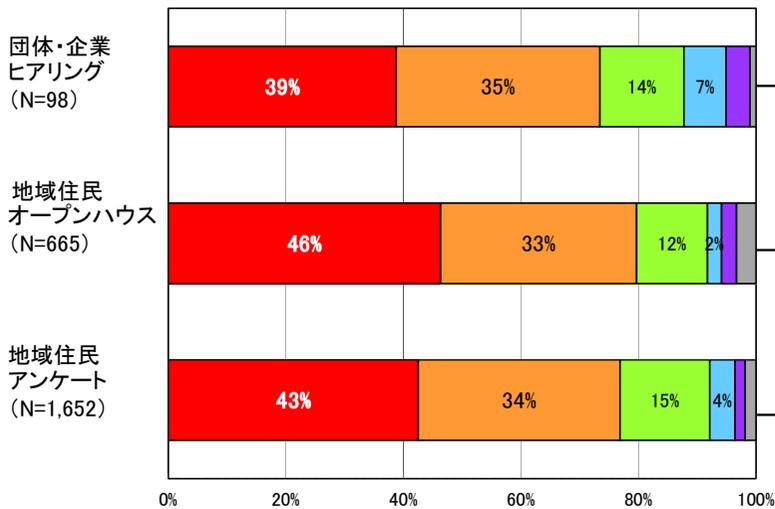
- ・三池港インターチェンジは、フルランプ形式にて設置されることを強く要望したい。(福岡県)
- ・熊本県側との連結強化による三池港活用のためには、現在端末ハーフインターである三池港ICを延伸時はフルインターとする必要がある。(大牟田市)
- ・県内有数の製造品出荷額である2つの工業団地を有することから、工業団地への連絡が良いことが望まれる。(長洲町)

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【④観光拠点への連絡が良い】

- いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として概ね重視している傾向。
- 自由意見では、グリーンランドや万田坑など、広域的な観光拠点へのアクセス性に関する配慮を求める意見が多かった。なお観光地に直近でない方が地域経済にとって望ましいとの意見も見られた。
- 自治体意見では長洲港へのアクセス向上による長崎県への新たな広域観光ルート形成が期待されているほか、地域内観光拠点へのアクセス性に関する配慮を望む意見があった。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答



- 佐賀方面からグリーンランドへアクセスする人にメリットが生じる位置へのIC設置が望ましい。(荒尾)
- 観光施設については、万田坑の将来性を考えてアクセス性に配慮することが必要である。(荒尾)
- 単純に観光地に近いだけでなく、観光地間の周遊を考えた配置計画にしてほしい。(大牟田)
- 長洲港にICを設置してほしい。有明フェリーの観光利用の観点からも有効。(大牟田)
- 旅行者は道中を楽しむことも楽しみといえるので、観光地の直近にICを設置しなくてよい。(大牟田)

- 市外から観光客を誘致するためにも、観光拠点への連絡が良い方がいい。(大牟田)
- グリーンランドや長洲港へのアクセスが便利になるように。(荒尾)
- 観光地には少しアプローチがあるほうが地元の経済にも良い。(荒尾)

- 物流・観光を重視したアクセス道路の機能を有する事が望まれる。(荒尾)
- 観光拠点とインターチェンジが近いとその道を利用する人達も多くなると思う。(長洲)

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

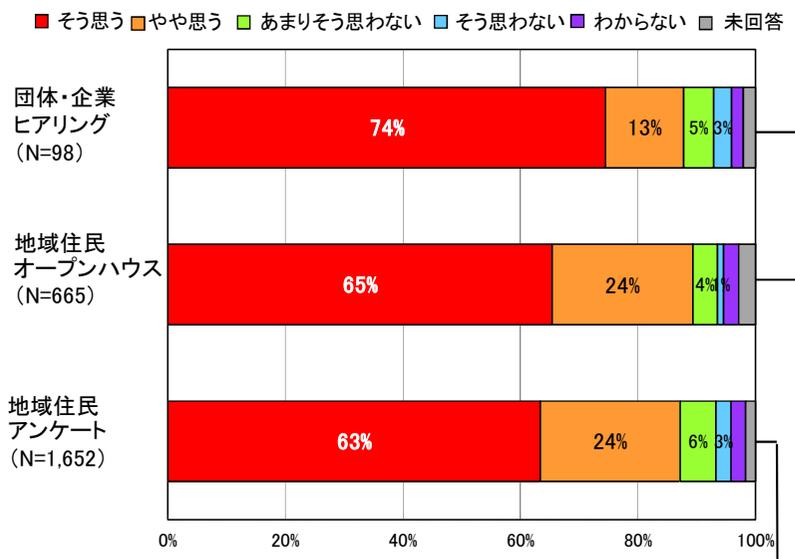
【自治体意見】

- ・有明フェリーの発着港である長洲港まで有明海沿岸道路が延伸されることで、長崎県への交通アクセスが向上し、新たな広域観光ルートの設定が可能となる。(大牟田市)
- ・世界遺産登録を目指す万田坑やラムサール条約登録湿地の荒尾干潟への観光交流人口増大を期待するので、観光拠点への連絡とアクセス道路機能に特に配慮を。(荒尾市)
- ・観光面から有明フェリーとのアクセスに配慮が必要である。(長洲町)

3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジに関すること

■ 属性別に見た回答の傾向 【⑤アクセス道路が十分な機能を有している】

■ いずれの意見聴取方法においても、配慮すべき事項として重視している傾向であった。
 ■ 自由意見では、十分な機能を有する主要な幹線道路への接続を望む意見が多い。
 ■ 自治体意見においても、十分な機能を有するアクセス道路が必要であるという意見があった。



■ ICの接続は、主要な幹線道路に接続することが、地域の発展等の面から望ましい。(大牟田)
 ■ 大型車等の交通処理面を考えると、十分に対応できる道路に設置することが望ましい。(荒尾)

■ インターチェンジに入るところや出口で渋滞が起こらないようなところに設けなければならないと思う。(長洲)

■ アクセス道路が十分な機能を果たせるところにインターがあれば他への連絡はスムーズにいくと思う。(長洲)
 ■ 国道や主要県道との取り付け道路の整備も期待したい。(大牟田)

【自治体意見】
 ・バイパス機能発揮による現道の渋滞緩和や大型車交通の分離などを期待しますので、アクセス道路の機能に特に配慮すべきと考えます。(荒尾市)
 ・交通量の増加に伴う事故がないよう十分な機能を持つアクセス道が必要である。(長洲町)

■ そう思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 未回答

3-2. 意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果(再掲)

■自治体への意見聴取結果

<福岡県知事>

- ・長洲方面から重要港湾である三池港へのアクセス性向上や、周辺地域の生活利便性向上に大きく寄与すると考えることから、三池港インターチェンジは、フルランプ形式にて設置されることを強く要望したい。

<熊本県知事>

- ・役所、駅等の公共施設利用者の多くは地元住民であることから、インターチェンジが必ずしも至近である必要はない。
- ・当該地域の第3次医療施設は熊本市や久留米市と遠いため、地域内の病院からの搬送時間短縮が課題であり、高いアクセス性を確保する必要がある。
- ・物流の速達性の確保のためには、港湾や工業団地などの物流拠点とインターチェンジの連絡が良い必要がある。
- ・当地域には、三井グリーンランド、宮崎兄弟資料館、世界文化遺産に推薦されている万田坑等の広域的な集客施設があり、これらの観光拠点への自動車専用道路からのアクセス性は高い必要がある。
- ・既存のアクセス道路について、インターチェンジの設置に伴い交通量が増加した場合にも、交通容量に余裕があるのか、十分な検討を行ったうえで、インターチェンジの設置を検討していただきたい。

<大牟田市長>

- ・熊本県側との連結強化による三池港活用のためには、現在端末ーフインターである三池港ICを延伸時はフルインターとする必要がある。
- ・有明フェリーの発着港である長洲港まで有明海沿岸道路が延伸されることで、長崎県への交通アクセスが向上し、新たな広域観光ルートの設定が可能となる。

<荒尾市長>

- ・物流効率の向上、企業誘致、世界遺産登録を目指す万田坑やラムサール条約登録湿地の荒尾干潟への観光交流人口の増大、バイパス機能発揮による現道の渋滞緩和や大型車分離を期待するので、物流・産業拠点、観光拠点への連絡とアクセス道路機能に特に配慮を。
- ・今後の競馬場跡地の有効活用や家屋移転数を少なくするためには、競馬場跡地内でのIC設置が望ましい。

<長洲町長>

- ・救急搬送の速達性の面からは病院への連絡がよいことが望ましい。
- ・県内有数の製造品出荷額である2つの工業団地を有することから、工業団地への連絡が良いことが望まれる。
- ・観光面から有明フェリーとのアクセスに配慮が必要である。
- ・交通量の増加に伴う事故がないよう十分な機能を持つアクセス道が必要である。

4. 対応方針(案)の検討

4-1. 対応方針(案)の検討<複数案の比較>



政策目標

- ①長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への速達性向上による産業支援
- ②熊本～佐賀間及び大牟田、荒尾、長洲圏域内の連絡強化による圏域全体の活性化と快適な暮らしの向上
- ③速達性確保による有明・島原広域観光振興の促進
- ④信頼性の高い緊急輸送路の確保
- ⑤熊本市・久留米市の第三次救急医療施設への速達性・安全性の向上

- 事業中
- 案①産業・観光拠点直結ルート案
- 案②生活拠点直結ルート案
- 案③現道改良案

4-2. 対応方針(案)の検討<複数案の比較評価>

評価の項目		案① 産業・観光拠点直結ルート案		案② 生活拠点連結ルート案		案③ 現道改良案		
ルートの概要		三池港ICと長洲港・長洲工業団地といった産業・観光拠点を短絡する別線ルート		沿岸部の住宅地を回避し、大牟田市・荒尾市・長洲町の生活拠点を連結する別線ルート		既存の現道を改良し活用することでコストを抑えるルート		
		80km/hで走行できる自動車専用道路(延長約9km)		80km/hで走行できる自動車専用道路(延長約10km)		設計速度60km/hの一般道(延長約9km)		
目的地までの移動は？	暮らし	生活拠点間の移動時間(大牟田市～長洲駅周辺)	△	ルート案から離れているため、短縮時間が案②より小さい	○	ルート案に近接しているため、短縮される	×	一般道のため、短縮時間が小さい
	産業・観光	産業・観光拠点間の移動時間(三池港IC～長洲港)	○	ルート案に近接しているため、短縮される	△	ルート案から離れているため、短縮時間が案①より小さい	×	一般道のため、短縮時間が小さい
	医療	第三次救急医療施設への移動時間(荒尾市～熊本医療センター)	○	自動車専用道路であるため、短縮される	○	自動車専用道路であるため、短縮される	×	一般道のため、短縮時間が小さい
災害の時は？	高潮時による浸水	○	高さにより回避できる	○	高さにより回避できる	×	回避できない	
集落からのアクセス性は？	〔接続道路の制約〕	△	〔自専道のためインターチェンジからの利用となりアクセスに一定の制約を受ける〕	△	〔自専道のためインターチェンジからの利用となりアクセスに一定の制約を受ける〕	○	〔沿道からの利用が可能〕	
事故(安全性)は？	通過交通と地域内交通の分離	○	〔自専道のため分離される〕 〔工業団地、長洲港と直結するため、通過交通と地域内交通が完全に分離する〕	△	〔自専道のため分離される〕 〔工業団地、長洲港からの交通が生活道路である市道を介しての利用となるため、通過交通と地域内交通が一部混在する〕	×	〔分離できない〕 〔現道改良であり、通過交通と地域内交通が分離されない〕	
家屋への影響は？	移転及び近接するなど影響が考えられる家屋等の数	△	〔別線整備のため少ない〕 〔移転の家屋数は案②より少ない〕	○	〔別線整備で住宅地を回避するため、案①より少ない〕 〔移転の家屋数は案①より多い〕	×	〔沿道家屋への影響が大きい〕 〔移転の家屋数が最も多い〕	
自然環境への影響は？	周辺の土地利用、自然環境への影響	○	〔ラムサール区域は通過しない〕 〔圃場整備区域は通過しない〕	△	〔ラムサール区域は通過しないが、圃場整備区域を通過する〕	○	〔ラムサール区域は通過しない〕 〔圃場整備区域は通過しない〕	
開通時期は？	整備効果の発現	△	一定の期間を要する	△	一定の期間を要する	○	段階的に供用することが可能なため、早期発現が可能	
整備費用は？	建設に要する費用	△	約 700～750億円	×	約 800～850億円	○	約 500～550億円	

※比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。
 (○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る)

4-3. 対応方針(案)の検討

【ルートの考え方】

・生活環境や自然環境への影響も少なく、工業団地や三池港、長洲港等へ目的地まで速くスムーズな移動が可能となる計画。

【インターチェンジ配置の考え方】

・市街地や主要な幹線道路にアクセスしやすく、港湾や物流・産業拠点等への連絡性を考慮した計画。



5. 自治体への意見照会

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する自治体意見〕

■意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
福岡県	<ul style="list-style-type: none">・有明海沿岸道路(Ⅱ期)大牟田市～長洲町における国土交通省九州地方整備局の対応方針(素案)に同意します。・本道路が実現されれば、福岡～佐賀間の有明海沿岸道路と連携し、有明海沿岸の都市群の交流促進や活性化が期待されるところであります。・本区間の早期事業化が図られますように特段の配慮をお願いいたします。
熊本県	<ul style="list-style-type: none">・有明海沿岸道路(Ⅱ期)大牟田市～長洲町における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。・本区間の国による早期事業化が図られますよう特段の御配慮をお願いいたします。・事業実施に向けては、荒尾干潟など海岸の環境や景観などへの影響に御配慮いただきますようお願いいたします。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する自治体意見〕

■意見照会の回答(福岡県知事・熊本県知事)

26 道建第 475 号
平成 26 年 6 月 27 日

国土交通省
九州地方整備局長 殿

福岡県知事 小川 洋



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成 26 年 6 月 26 日付け国九整道一計第 5 号の意見照会について、下記のとおり回答いたします。

記

有明海沿岸道路(Ⅱ期)大牟田市～長洲町における国土交通省九州地方整備局の対応方針(素案)に同意します。

本道路が実現されれば、福岡～佐賀間の有明海沿岸道路と連携し、有明海沿岸の都市群の交流促進や活性化が期待されるところであります。

つきましては、本区間の早期事業化が図られますように特段の配慮をお願いいたします。

福岡県 県土整備部 道路建設課
企画調査係 松尾 山下
電話 092-643-3660

道整第 5 1 号
平成 2 6 年 6 月 2 7 日

国土交通省 九州地方整備局長 様

熊本県知事 蒲島 郁夫



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成 2 6 年 6 月 2 6 日付け国九整道一計第 5 号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 有明海沿岸道路(Ⅱ期)大牟田市～長洲町における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 本区間の国による早期事業化が図られますよう特段の御配慮をお願いします。
- 3 事業実施に向けては、荒尾干潟など海岸の環境や景観などへの影響に御配慮いただきますようお願いいたします。

6. 対応方針(案) まとめ

6. 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- ◇長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への速達性向上による産業支援
- ◇熊本～佐賀間及び大牟田、荒尾、長洲圏域内の連絡強化による圏域全体の活性化と快適な暮らしの向上
- ◇速達性確保による有明・島原広域観光振興の促進
- ◇信頼性の高い緊急輸送路の確保
- ◇熊本市・久留米市の第三次救急医療施設への速達性・安全性の向上

- 対象地域は、熊本県内有数の工業団地や三池港、長洲港等を有しているが、速達性・安全性が課題であり、地域の産業や広域観光の振興を支援するためには、安全で速達性の高い道路整備が必要。
- 企業・団体ヒアリングやオープンハウス及びアンケート等においても、目的地まで早くスムーズに走ることができる速達性・安全性の高い道路が早期に必要なという意見が多く、このような政策目標を早期に実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針(案)

(1) ルート帯について

『案①』を対応方針(案)とする。

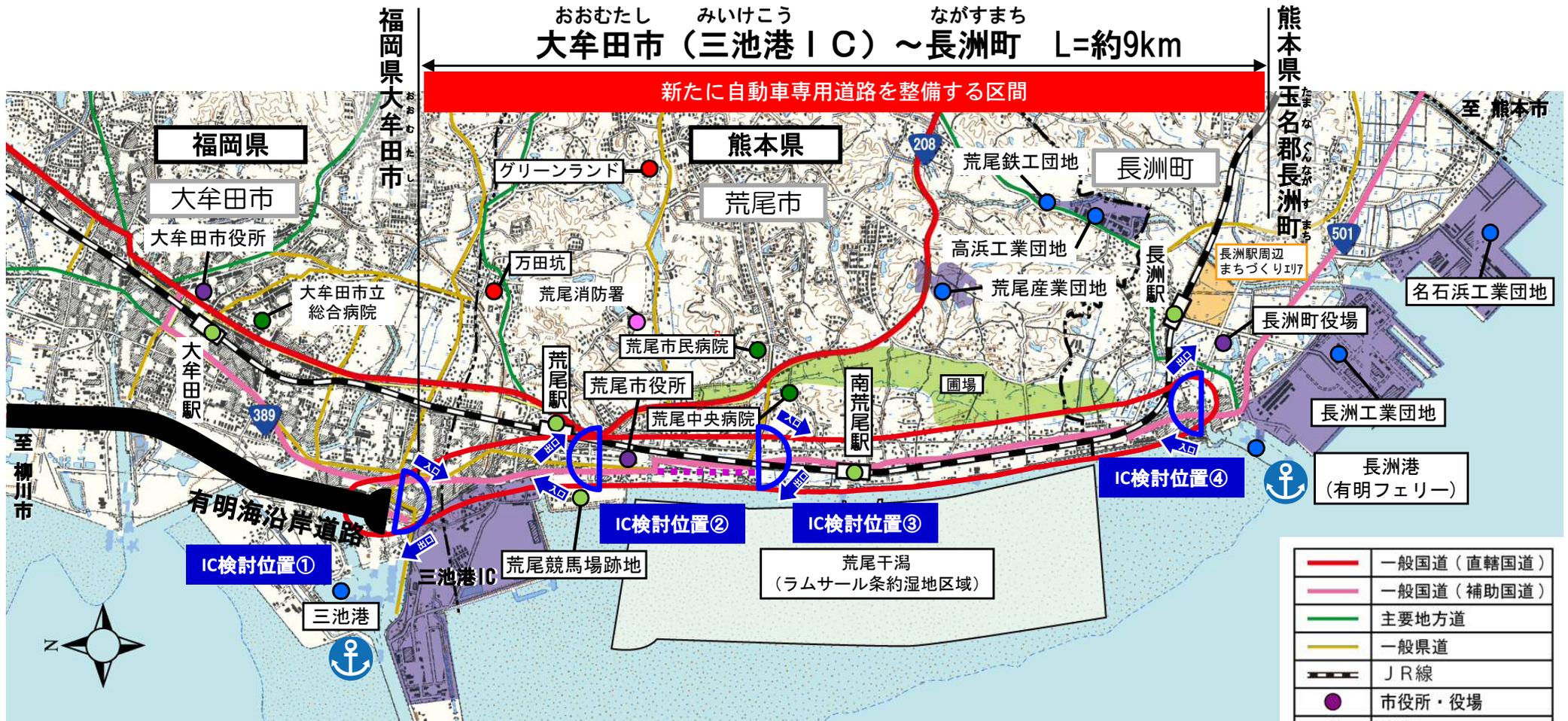
【理由】

- 『案①』は、全ての政策目標の達成が見込め、特に工業団地や三池港、長洲港への速達性・安全性が最も優れており、また、生活環境や自然環境への影響も少ないこと等総合的に評価し、『案①』を対応方針(案)とする。
 - 地域住民や企業団体、地方自治体への意見聴取においても、「目的地までの速達性」、「生活環境への配慮」、「自然環境への配慮」を望む意見が多く、このようなニーズにおいても『案①』が最も優れている。
- (2) インターチェンジについて
- 地域住民や企業団体、地方自治体への意見聴取では「港湾や工業団地等物流・産業拠点への連絡性」の意見が多い事を踏まえて、市街地や主要な幹線道路にアクセスしやすく、港湾や物流・産業拠点等への連絡性を考慮した別紙の配置案とする。

3. その他

- ・ 具体の道路構造等の検討に際しては、家屋や環境・景観への影響を出来る限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。

6. 対応方針(案)



	一般国道 (直轄国道)
	一般国道 (補助国道)
	主要地方道
	一般県道
	JR線
	市役所・役場
	病院
	物流拠点
	観光拠点
	消防署
	その他の拠点施設
	工業団地
	事業中
	概ねのルート
	概ねのIC位置

大牟田市～長洲町

○対応方針を決定の上、今後、都市計画等必要な手続きを実施予定

長洲町～熊本市

○地域の現状・課題等について整理の上、国・熊本県・熊本市で連携して整備方針や優先区間等の検討を進めていく予定

